
一宮町地域公共交通活性化協議会

第5回協議会資料

・実施計画書

・アンケート実施計画（案）について

参考資料・公共交通機関等の現状について

平成21年8月3日

目 次

	Page
．実施計画書	
1．調査の目的 -----	1
2．業務フロー -----	1
3．業務内容 -----	2
4．業務工程 -----	5
5．業務体制 -----	6
6．成果品 -----	6
．アンケート実施計画（案）について	
1．住民アンケート調査 -----	7
2．駅利用者ヒアリング調査 -----	19
3．観光客ヒアリング調査 -----	21
4．宿泊業者アンケート調査 -----	23
5．調査スケジュール -----	25
参考資料．公共交通機関等の現状について	
1．位置・地勢 -----	26
2．一宮町の人口及び施設配置 -----	27
3．通勤・通学流動の実態 -----	31
4．公共交通機関の現状 -----	33

実施計画書

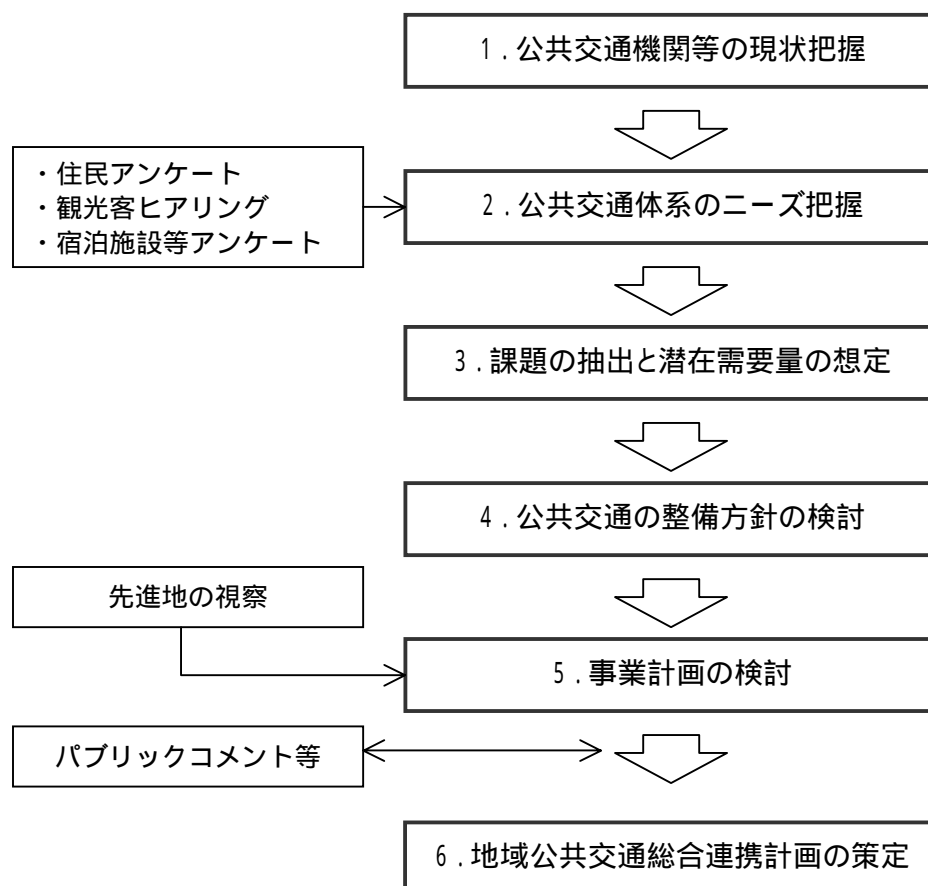
1. 調査の目的

本町では、高齢者や子供達、身体の不自由な方々に安全で快適な交通手段を提供するとともに、町の活性化につながるよう観光面で人をよぶ、あるいは本町で盛んなサーフィンを考慮して若者を招聘するための交通手段、また商店街への交通手段、基幹産業である農業と自然とエコを融合させる交通手段の検討が必要となっている。

本業務は、こうした観点をふまえ、本町の未来の姿を想定し、新たな公共交通の導入と既存公共交通の利用促進策を検討し、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」にもとづく「地域公共交通連携計画」を策定する。

2. 業務フロー

本業務の概略フローを以下に示す。



3. 業務内容

(1) 公共交通機関等の現状把握

本町の基礎情報（人口分布など）及び公共交通機関（鉄道、バス、にこにこサービス）の運行頻度、利用者数、収支状況等について、既往統計資料等を用いて整理する。

表 現状把握項目

項目	内容	方法
基礎情報の把握	人口動向及び人口分布	・国勢調査 ・町統計資料 ・道路地図 など
	人口流動（通勤・通学）	
	主要施設分布状況	
	道路、鉄道、バスネットワーク	
	観光地の位置・入り込み観光客	
公共交通の現状把握 （鉄道・路線バス・ にこにこサービス）	利用者数	・事業者資料（提供） など
	運行状況	
	収支状況、財政支援状況	

(2) 公共交通体系のニーズ把握

公共交通に関する住民等の意向を把握するため、下記の調査を実施する。

住民アンケート調査

町内の住民を対象としたアンケート調査を実施し、町民の交通行動実態及び公共交通に対する意識やニーズに関する事項を中心に分析・整理する。

調査対象

- ・町内の全世帯から 2,000 世帯を無作為抽出する。なお、アンケートは、調査世帯の中学生以上の全世帯員を対象とする。

調査方法

- ・アンケートは、対象世帯に対して郵送で配布、郵送で回収する方式とする。なお、地域的な偏りが生じないように、字別の世帯数に応じて配布する。

調査項目

- ・目的別交通行動パターン（行き先、利用交通手段など）
- ・路線バスの利用実態（利用頻度、目的、利用しない理由など）
- ・にこにこサービスの利用実態（利用頻度、目的、利用しない理由など）
- ・将来の一宮町の公共交通に対する意向
- ・自由意見

駅利用者ヒアリング調査

上総一ノ宮駅の利用者を対象としたヒアリング調査を実施し、通勤・通学利用者及び買物利用者を主なターゲットとして、駅端末交通の利用実態、公共交通に対するニーズに関する事項を中心に分析・整理する。

調査対象

- ・上総一ノ宮駅利用者

調査方法

- ・駅構内に調査員を配置し、駅利用者ヒアリングを実施する。なお、調査は9月中旬の平日1日（7時～15時）とし、目標サンプル数は150票程度とする。

調査項目

- ・外出行動実態（出発地・目的地、利用目的、利用頻度など）
- ・利用交通手段（利用交通手段、交通手段の選択理由など）
- ・一宮町の公共交通に対する意向

観光客ヒアリング調査

町内の主要施設及び観光地における来訪者を対象としたヒアリング調査を実施し、観光客の来訪実態及び町内の公共交通に対するニーズに関する事項を中心に分析・整理する。

調査対象

- ・東浪見海水浴場一帯、一宮海水浴場一帯、釣ヶ崎一帯

調査方法

- ・調査員を配置し、来訪者に簡単なヒアリングを実施する。なお、調査は8月中旬の日曜日1日（8時～18時）とし、目標サンプル数は300票程度とする。

調査項目

- ・交通行動実態（来訪頻度、目的、町内立ち寄り施設など）
- ・利用交通手段（出発地、利用交通手段）
- ・鉄道や路線バスの利用意向
- ・観光交通に対する意向

宿泊施設等アンケート調査

町内の主要な宿泊業者、観光センター等を対象としたアンケート調査を実施し、宿泊業者による観光客の送迎状況等のバス運用実態を把握する。

調査対象

- ・主要な宿泊施設、観光センター、その他観光施設

調査方法

- ・アンケートは、対象事業者に対して郵送で配布、郵送で回収する方式とする。

調査項目

- ・送迎バス等の実施有無
- ・送迎バスの運行実態

(3) 課題の抽出と潜在需要量の想定

(1) ~ (2) の結果から、地域に求められている生活交通や観光交通のあり方のニーズを利用者 (観光客・町民) の視点から把握し、本町における公共交通の課題を抽出する。また、公共交通利用における潜在需要量を試算し、新たな公共交通システムの検討を行う際の基礎的資料とする。

(4) 公共交通の整備方針の検討

基本方針及び目標の設定

公共交通に関する基本的な考え方を整理したうえ、本町の公共交通に関するサービス水準の目標を設定する。

- ・生活交通に関する整備方針
- ・観光交通に関する整備方針

目標達成のための事業メニューの検討

上記で設定した目標を達成するための事業及び事業主体について、基本的な枠組みを検討する。

- ・新たな公共交通システムに関する施策
- ・既存路線バスの存続・活性化に関する施策
- ・公共交通機関相互の連携に関する施策

(5) 事業計画の検討

上記で設定した事業メニューについて、各事業の実施可否、推進体制、実施スケジュール等について検討を行う。

新たな公共交通システムの導入の検討

路線バス等の既存公共交通機関での対応が困難な地域については、住民や観光客の交通行動特性、需要量と費用負担のバランスを考慮し、最適な交通手段とその運行形態の検討を行う。

先進地の視察

- ・県内における地域公共交通の導入先進都市への視察を行う。

既存公共交通の利用促進策の検討

路線バスやにこにこサービス等の既存公共交通機関の利用促進方策について検討を行う。また、既存公共交通機関と新たな公共交通システムとがネットワークとして機能するための連携方策の検討を行う。

(6) 地域公共交通総合連携計画のとりまとめ

これまでの検討結果をもとに、地域公共交通総合連携計画としてとりまとめる。

なお、計画の策定にあたっては、広く住民の意見を反映するため、連携計画素案時にパブリックコメントの募集を実施する。

4. 業務工程 【 工期：～平成22年3月21日(金)】

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 公共交通機関等の現状把握	■							
2. 公共交通体系のニーズ把握								
(1) 住民アンケート調査	■	■	(アンケートは8月下旬に配布)					
(2) 観光客ヒアリング	■	■	(ヒアリングは8月中旬頃に実施)					
(3) 宿泊業者アンケート調査	■	■	(アンケートは8月下旬に配布)					
3. 課題の抽出と潜在需要量の想定								
(1) 課題の抽出	■	■						
(2) 潜在需要量の想定	■	■						
4. 公共交通の整備方針の検討								
(1) 基本方針及び目標の設定	■	■						
(2) 目標達成のための施策メニューの検討	■	■						
5. 事業計画の検討								
(1) 新たな公共交通システム導入の検討	■	■	■	■	■	■	■	■
(2) 既存公共交通の利用促進策の検討	■	■	■	■	■	■	■	■
6. 地域公共交通総合連携計画の策定							(パブリックコメント実施)	
7. 報告書とりまとめ							住民説明会	■
協議会開催(予定)	第5回		第6回(視察)	第7回		第8回		第9回

作業項目

【第5回協議会(8/3)】
 ○実施計画書
 ○アンケート実施計画

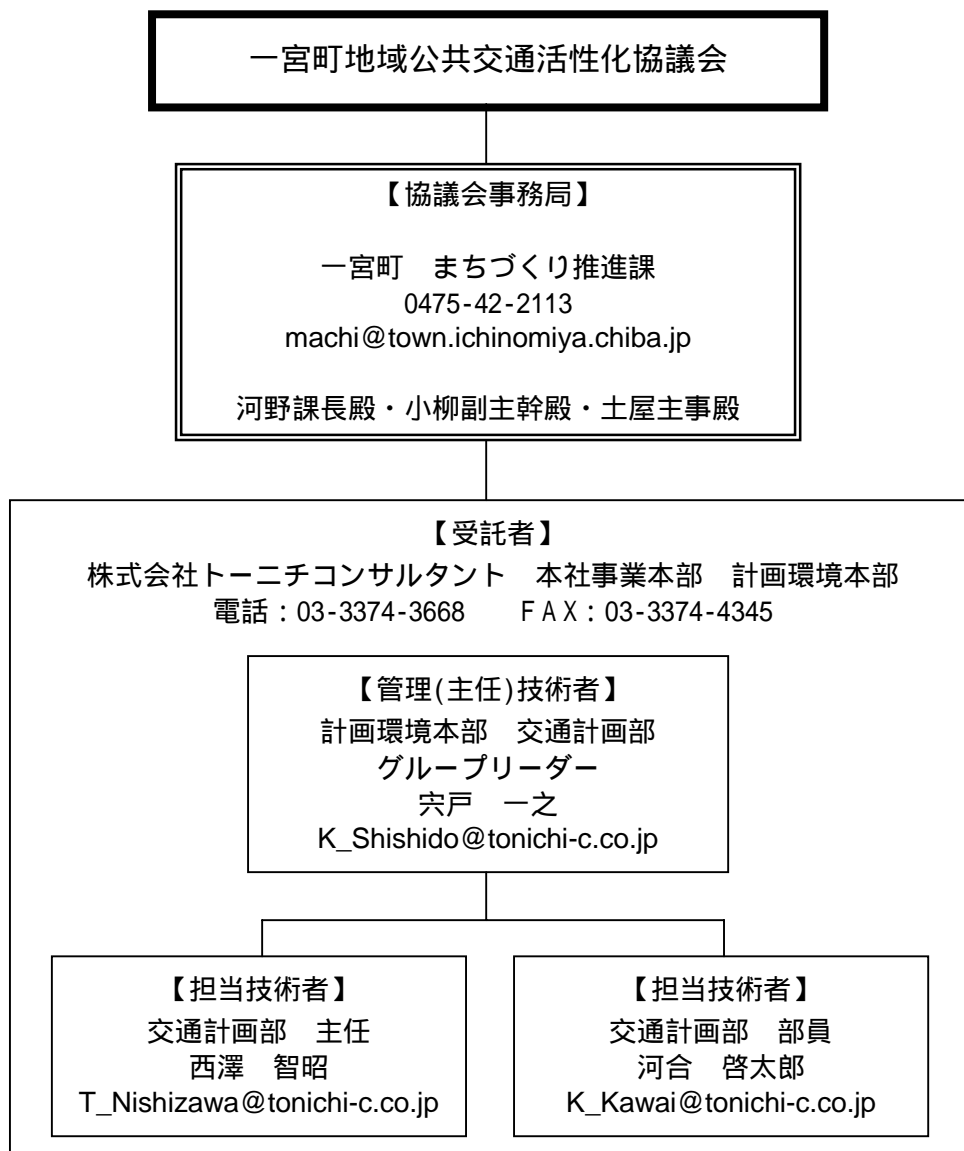
【第6回協議会】
 ○アンケート結果報告
 ○課題について
 ○先進地視察について

【第7回協議会】
 ○基本方針と目標設定
 ○事業メニューの基本的な枠組みについて

【第8回協議会】
 ○事業計画について
 ○連携計画(素案)の作成

【第9回協議会】
 ○パブリックコメント結果報告
 ○連携計画の策定
 ○認定申請について

5 . 業務体制



6 . 成果品

- | | |
|--------------------|------|
| ・ 報告書 (A4 横書き・左綴じ) | 30 部 |
| ・ 報告書電子データ (CD R) | 一式 |
| ・ その他関連資料 | 一式 |

．アンケート実施計画（案）について

1．住民アンケート調査

（1）調査目的

一宮町内の交通行動の実態及び公共交通に対する意識やニーズを把握するためのアンケート調査を実施する。

また、本調査結果をもとに、一宮町民の何人が公共交通を必要としているのか、どのような目的でどこへ行きたいと希望しているのかを定量的に分析する。

（2）調査方法・内容

配布数：2,000 世帯

- ・町内の全世帯から 2,000 世帯を無作為抽出する。なお、地域的な偏りが生じないように、字別の世帯数に応じて抽出する。

目標回収数：500 世帯

- ・回収率を 25%と想定し、500 票程度（全世帯の約 1 割程度）のサンプル確保を目指す。

調査方法

- ・対象世帯に対して郵送で配布、郵送で回収する方式とする。
- ・アンケートの回収方法は、料金受取人払い（宛名は一宮町役場、料金支払いはトーニチ）として実施する。

調査項目

アンケートの項目は、次頁の分析目的から以下のように設定した。

- ・目的別交通行動パターン（行き先、利用交通手段など）
- ・路線バスの利用実態（利用頻度、目的、利用しない理由など）
- ・にこにこサービスの利用実態（利用頻度、目的、利用しない理由など）
- ・将来の一宮町の公共交通に対する意向
- ・自由意見

表 住民アンケートの目的と調査項目

分析項目	検証する事項		調査項目
公共交通の潜在需要	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利用状況 	<ul style="list-style-type: none"> 目的別交通行動パターン 	<ul style="list-style-type: none"> 通勤における交通行動 通学における交通行動 買物における交通行動 通院における交通行動
	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通を利用できない住民 現在利用していないが公共交通に転換する可能性のある住民 	<ul style="list-style-type: none"> 利用できる公共交通の有無 住民ニーズと実際の路線のずれ 現在の交通手段からの転換の可能性 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅近くの公共交通の状況 目的別の住民ニーズ 現在の交通手段に対する不満（公共交通による改善の可能性）
路線バスに対する意向	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスの利用状況、存続の必要性 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の路線バスの利用実態 	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス利用の有無 路線バスの利用頻度 路線バスの利用目的
	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスに対する潜在需要 	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスを利用するための条件 	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスに対する改善要望
にここサービスに対する意向	<ul style="list-style-type: none"> にここサービスの利用状況、必要性 	<ul style="list-style-type: none"> にここサービスの利用実態 	<ul style="list-style-type: none"> にここサービス利用の有無 にここサービスの利用頻度 にここサービスの利用目的
	<ul style="list-style-type: none"> にここサービスに対する潜在需要 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の運体系に対する意見 	<ul style="list-style-type: none"> にここサービスの運営に対する妥当性 利用制限に対する妥当性
	<ul style="list-style-type: none"> 住民が期待する公共交通サービス 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通に求める役割 	<ul style="list-style-type: none"> 町民が重要と考える公共交通サービスのあり方
将来の一宮町の公共交通に対する意向	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通施策に対する住民の賛意 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通に対する負担意思 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通に対する負担額
	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通衰退に対する危機感 	<ul style="list-style-type: none"> 廃止路線バスに対する見解 	<ul style="list-style-type: none"> 廃止路線バスを維持するための施策の考え方
その他の公共交通に対する意向			<ul style="list-style-type: none"> 自由意見

(参考) 配布数について

住民アンケート調査のサンプル数は、統計学的に信頼の置ける票数を確保することを前提に決定する。

ここでは、アンケートの回収項目に対して、その誤差（標準誤差率）が10%以下に収まることを目標にサンプル数を決定する。

一宮町の全世帯対象とした場合、4,736世帯（平成21年7月1日現在）に対する標準誤差率は以下の表のように与えられる。

表 サンプル数と回答比率から見た標準誤差率

$N = 4,736$ (一宮町の全世帯)

$T_{95} = 1.96$ (有意水準95%)

回答比率 P サンプル数 n	10%	20%	30%	40%	50%
100	58.182	38.788	29.625	23.753	19.394
200	40.695	27.130	20.721	16.614	13.565
300	32.859	21.906	16.731	13.415	10.953
500	24.872	16.581	12.664	10.154	8.291
1,000	16.517	11.011	8.410	6.743	5.506
2,000	9.994	6.663	5.089	4.080	3.331
3,000	6.500	4.334	3.310	2.654	2.167

$$R = T_{\alpha} \cdot \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{1-P}{n \cdot P}} \times 100$$

R : 相対誤差 (%)

T : 信頼係数 ($T_{90}=1.65, T_{95}=1.96$)

N : 母集団

n : サンプル数

P : 回答比率

ここで回答比率：アンケート項目に対し同じ考えや意見を持った人の割合

有意水準：アンケートの回答の確かさ

上表のように回答比率を50%と想定した場合、一宮町の世帯規模で標準誤差率10%以下のサンプル数を得るにはだいたい500世帯からの回収が目標となる。

今回の住民アンケート調査は郵送配布・郵送回収を予定しているが、これまでの経験上、この種の住民アンケートの回収率は25%前後は期待できる。

以上より、住民アンケートの配布数は2,000世帯が妥当という結論となる。

(3) アンケート票のイメージ

アンケートの設問及び回答のイメージを次頁に示す。

一宮町の公共共通に関するアンケート（案）

1. あなたのご家庭についてお伺いします。

1) あなたのお住まいの町域名を下の選択肢より選んでください

新地 新地甲 新地丙 一宮(JRより西側) 一宮(JRより東側)
 船頭給 田町 綱田 東浪見 白山 本給 宮原

2) ご家族の構成を教えてください。下の表の該当する場所に人数を記載してください。

	男性	女性
65歳以上の方	_____人	_____人
15歳以上 65歳未満の方	_____人	_____人
15歳未満の方	_____人	_____人

3) ご自宅で免許をお持ちの方の人数を教えてください。 _____人

4) ご自宅で保有している自動車の台数を教えてください。 _____台

2. ご家族の中で通勤している方についてお伺いします。

以下の設問は、ご家族のなかで実際に通勤をなさっている方お一人についてお答えください。
 (本人がお答えになっても代わりの人がお答えになっても構いません。)
 通勤されている方がいないご家庭では、2は答えず、3にお進みください。

1) 通勤されている方の年齢、性別をお答えください。

年齢(_____歳) 性別(男 、 女)

2) 勤務先はどこですか？

町内の場合：一宮町 _____ (大字名、字名でお答えください。)

町外の場合： _____市・町・村

3) 通勤先への交通手段は何ですか？(全て選択)

自動車(自分で運転) 自動車(送迎) JR線 路線バス(茂原方面)
 路線バス(大多喜方面) 徒歩 自転車 原付・バイク タクシー
 その他(_____)

4) 通勤に公共交通を使わない理由は何ですか？また、通勤に公共交通を使っていて不便に感じる点は何ですか？ 選択肢に(バス、JR)とあるものについては、どの交通機関に対する意見かわかる様に _____をつけてください。

公共交通が運行されていない 運行本数が少ない(バス・JR)
 最寄のバス停や時刻などを知らない 運賃が高い(バス・JR)
 自分の身体が不自由である 始発が遅い、終車が早い(バス・JR)
 行きたい目的地に行く路線がない 送迎や買物など他の目的がある
 その他(_____)

3. ご家族の中で通学（高校生以上）されている方にお伺いします。

以下の設問は、ご家族のなかで実際に通学をなさっている方お一人についてお答えください。
(本人がお答えになっても代わりの人がお答えになっても構いません。)
通学されている方がいないご家庭では、3は答えず、4にお進みください。

1) 通学されている方の年齢、性別をお答えください。

年齢(_____ 歳) 性別(男 、 女)

2) 通学先はどこですか？

(_____)市・町・村(_____)高校・大学

3) 通学先への交通手段は何ですか？(全て選択)

自動車(自分で運転) 自動車(送迎) J R線 路線バス(茂原方面)
路線バス(大多喜方面) 徒歩 自転車 原付・バイク タクシー
その他(_____)

4) 通学に公共交通を使わない理由は何ですか？また、通学に公共交通を使っていて不便に感じる点は何ですか？ 選択肢に(バス、J R)とあるものについては、どの交通機関に対する意見かわかる様に をつけてください。

公共交通が運行されていない 運行本数が少ない(バス・J R)
最寄のバス停や時刻などを知らない 運賃が高い(バス・J R)
自分の身体が不自由である 始発が遅い、終車が早い(バス・J R)
行きたい目的地に行く路線がない 送迎や買物など他の目的がある
その他(_____)

5) 普段の通学のどんなところに不便を感じていますか？

下校時に使える交通手段がない 帰りが遅いと防犯上不安がある
雨の日に使える交通手段がない 親に送迎してもらい負担を掛けている
自転車や徒歩だと所要時間がかかりすぎる
バスや電車の時刻に縛られる 特に不便は感じていない
その他(_____)

4. ご家族で主に買い物をされている方についてお伺いします。

以下の設問は、ご家族のなかで日常の買物をなさっている方お一人についてお答えください。
(本人がお答えになっても代わりの人がお答えになっても構いません。)なお、日常の買物は食料品や日用品などの買物とします。

1) 普段日常の買物をされている方の年齢、性別をお答えください。

年齢(_____ 歳) 性別(男 、 女)

2) よく行く買い物先はどこですか?具体的に店の名前を記入して下さい。 不明の場合は周辺などの地域名でも構いません。

所在地 (_____ 市・町・村)

店の名前(_____) 不明な場合(_____ 周辺)

3) 買物先への交通手段は何ですか?(全て選択)

自動車(自分で運転) 自動車(送迎) J R線 路線バス(茂原方面)

路線バス(大多喜方面) 徒歩 自転車 原付・バイク タクシー

その他(_____)

4) 週に何回ほど買い物に行きますか?

週(_____)回

5) 買物に公共交通を使わない理由は何ですか?また、買物に公共交通を使っていて不便に感じる点は何ですか? 選択肢に(バス、J R)とあるものについては、どの交通機関に対する意見かわかる様子を つけてください。

公共交通が運行されていない 運行本数が少ない(バス・J R)

最寄のバス停や時刻などを知らない 運賃が高い(バス・J R)

自分の身体が不自由である 始発が遅い、終車が早い(バス・J R)

行きたい目的地に行く路線がない 送迎や通院など他の目的がある

その他(_____)

6) 普段の買物に行く際にどのような不便を感じていますか?

車がないので買物にいける場所が限られる

雨の日は外出できない 自分で車が運転できないため家族に負担をかけている

買物に行く先が遠い 車がないのでたくさん買物ができない

車の維持費や燃料代も馬鹿にならない 家事や仕事で買物もままならない

特に不便は感じていない

その他(_____)

5. ご家族で通院されている方についてお伺いします。

以下の設問は、ご家族のなかで現在通院をなさっている方お一人についてお答えください。（本人がお答えになっても代わりの人がお答えになっても構いません。）

現在通院をなされている方がいないご家庭では5は回答せず、6にお進みください。

1) 現在通院されているかたの年齢、性別をお答えください。

年齢(_____ 歳) 性別(男、女)

2) 通院先の病院・医院はどこですか？具体的に医院名・病院名を記入して下さい。不明の場合は 周辺などの地域名でも構いません。

所在地 (_____ 市・町・村)

医院・病院名(_____) 不明な場合(_____ 周辺)

3) 通院先への交通手段は何ですか？(全て選択)

自動車(自分で運転) 自動車(送迎) J R線 路線バス(茂原方面)

路線バス(大多喜方面) 徒歩 自転車 原付・バイク タクシー

その他(_____)

4) 週に何回ほど通院されますか？

週(_____)回

5) 通院に公共交通を使わない理由は何ですか？また、通院に公共交通を使っていて不便に感じる点は何ですか？ 選択肢に(バス、J R)とあるものについては、どの交通機関に対する意見かわかる様に をつけてください。

公共交通が運行されていない

運行本数が少ない(バス・J R)

最寄のバス停や時刻などを知らない

運賃が高い(バス・J R)

自分の身体が不自由である

始発が遅い、終車が早い(バス・J R)

行きたい目的地に行く路線がない

送迎や通院など他の目的がある

その他(_____)

6) 普段、通院するときどのような不便を感じていますか？

車がないので通院できる場所が限られる

雨の日は外出できない

自分で車が運転できないため家族に負担をかけている

通院先が遠い

タクシー代などがかかる

車の維持費や燃料代も馬鹿にならない

朝の診察開始時間に間に合わない

特に不便は感じていない

その他(_____)

6 . 路線バスについてお伺いします。

一宮町では小湊鉄道のバス路線が2系統（一宮海岸～JR 茂原駅、上総一ノ宮駅～大多喜車庫）運行されています。このうち、一宮海岸～JR 茂原駅間の路線は廃止予定、上総一ノ宮駅～大多喜車庫間の路線は平成 20 年度から 2 年間の間、沿線 3 町で運行費を補助して運行することが決定しています。

1) 普段、路線バスを利用していますか？

利用している 利用していない【 5) へ進んでください 】

2) 利用頻度はどのくらいですか？

ほぼ毎日 週 2・3 回程度 月数回程度 年数回程度

3) 利用目的は何ですか？

通勤 通学 買物 通院 遊び・レクリエーション

その他 (_____)

4) 利用している区間はどこからどこまでですか？

(_____) 停留所 ~ (_____) 停留所

【 7 . へ進んでください 】

5) 路線バスを利用しない理由は何ですか？

行きたい目的地に行けない 運行本数が少なすぎる
運賃が高すぎる 時間がかかりすぎる
荷物を持って乗りにくい 小さな子供がいる
バス停まで歩くのがつらい バスの路線や時刻を知らない
自家用車があるのでわざわざバスに乗る必要はない
病院などの受付時間と合わない 学校や職場の始業時間と合わない
その他 (_____)

6) 路線バスについて意見や具体的な改善要望などありましたら、下の回答欄にご記入ください。

7. にこにこサービスについてお伺いします。

一宮町では、65 歳以上の高齢者や体の不自由な方を対象に、町内医療機関や上総一ノ宮駅までの送迎を無料で行う「にこにこサービス」を実施しています。

1) 「にこにこサービス」についてご存知でしたか？

知っていた 知らなかった

2) 「にこにこサービス」を利用したことはありますか？

利用したことがある 利用したことがない【 5) へ進んでください 】

3) 利用頻度はどのくらいですか？

ほぼ毎日 週 2・3 回程度 月数回程度 年数回程度

4) 利用目的は何ですか？

買物 通院 その他 (_____)

5) 「にこにこサービス」は、町が年間約 100 万円の負担を行い運行しており、平均利用者数は約 51 人/月となっています。これを踏まえたうえで、「にこにこサービス」についてどのようにお考えになりますか？

このままの形態で続けるべきである

無料ではなく利用者にも応分の負担を求めるべきである

高齢者や体の不自由な人に限定しないで運行すべきである

廃止するべきである

その他 (_____)

6) 「にこにこサービス」について意見や具体的な改善要望などありましたら、下の回答欄にご記入ください。

8 . 一宮町の将来の交通体系についてお伺いします。

一宮町では地域公共交通総合連携計画を実施し、町民の皆さんが日常生活に有効に利用できる公共交通体系のあり方について検討を行っています。

1) 将来の一宮町にとって必要な公共交通とはどのようなものだと思いますか。重要と思う順番に下の選択肢の番号をつけてください。

重要と思う順番： _____

- 【選択肢】
- 1 . 通勤に便利に利用できる公共交通
 - 2 . 小中学生の通学に安心して利用できる公共交通
 - 3 . 高校の通学に利用できる公共交通
 - 4 . 買物や通院に便利に利用できる公共交通
 - 5 . 東京や千葉市にスピーディに移動できる公共交通
 - 6 . 休日のレクリエーションに便利に利用できる公共交通

2) あなたが一番重要と考える公共交通を実現するために、運賃のほかに町民一世帯あたりで公平に税金負担をしなければならないとしたとき、年間いくら位なら負担してもよいと思いますか？

- . 0 円 . 1 円 ~ 1,000 円 . 1,001 円 ~ 3,000 円 . 3,001 円 ~ 5,000 円
. 5,001 円 ~ 10,000 円 . 10,001 円以上 その他 (_____)

3) 町内の路線バスのうち、一宮海岸 ~ 茂原駅間の路線は廃止予定、上総一ノ宮駅 ~ 大多喜車庫までの路線は今後 2 年間は町の補助金で運行 (利用者が好転しない場合廃止もありえます) が決定しています。これらのバス路線について今後どのようにお考えですか？

- 廃止もやむ終えない 【 5) へ進んでください 】
将来のことを考えると一宮海岸 ~ 茂原駅間は存続すべき
将来のことを考えると上総一ノ宮駅 ~ 大多喜車庫間は存続すべき
将来のことを考えるとどちらの路線も存続すべき
町が主体となって代替交通手段を確保すべき
その他 (_____)

4) バス路線を維持するためには運行経費を捻出する必要があります。運行経費を捻出するためにどうすべきだと思いますか？

- 町民 1 世帯あたりで平等に運行経費を負担すべきである。
いくら位までなら負担できると思いますか。一世帯あたり _____ 円/年
あくまでも利用者が運賃として負担すべきである。
民間事業者が自主努力で運行経費を捻出すべきである。
地域の企業や学校、商業関係者などにも運行費用の負担を求めるべきである。
その他 (_____)

5) 最後に今後の一宮町の公共交通について意見や要望がありましたらご記入ください。



アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

2. 駅利用者ヒアリング調査

(1) 調査目的

鉄道駅利用者の交通行動実態、駅端末交通の利用実態、公共交通に対するニーズを把握するためのヒアリング調査を実施し、自家用車から公共交通への転換可能性について分析する。

(2) 調査方法・内容

調査対象

- ・上総一ノ宮駅の利用者

調査方法

- ・上総一ノ宮駅構内に調査員を2名配置し、駅利用者にはアヒアリングまたは直接アンケート票を配布し、その場でご記入いただく方法とする。
- ・調査は9月中旬の平日1日(7時~19時)とし、目標サンプル数は150~300票程度とする。

一般に、調査員による対話形式のヒアリング調査では、調査員1人1日あたりのサンプル回収数は50~80票程度とされている。上総一ノ宮駅の一日平均乗車客数は約3,000人であることから、5~10%の回収率が期待できる。

調査項目

アンケートの項目は、下記の分析目的から設定した。

表 駅利用者ヒアリングの目的と調査項目

分析項目	検証する事項	調査項目
駅利用者の特性	・個人属性	・個人属性 ・出発地と目的地 ・外出目的と頻度
	・公共交通の利用状況	・駅までの交通手段 ・交通手段の選択理由
公共交通の活用可能性	・公共交通等へのニーズ	・鉄道・駅への要望 ・路線バスへの要望
	・利用意向	・バスの利用意向

(3) アンケート票のイメージ

アンケートの設問及び回答のイメージを次頁に示す。

上総一ノ宮駅アンケート票（案）

1. あなたの本日の行動についてお伺いします。

1) 出発地と目的地についてお伺いします。（郵便番号でも可）

- (1) 出発地はどちらですか？ 町内() 町外()市・町・村)
(2) 目的地はどちらですか？)市・区・町・村

2) 今回の移動目的を選んでください。

通勤 通学 業務 買物 観光・レジャー 私事 その他

3) 上記目的による外出頻度を選んでください。

ほぼ毎日 週3~4日 週1日 月に1~2日 今回はじめて

4) 出発地から上総一ノ宮駅への利用交通手段を選んでください。

自家用車 路線バス タクシー 自転車 徒歩 その他

5) 上記の交通手段を利用された理由は何ですか？

他に手段がない 便利だから 時間通りに移動できるから
移動が楽だから 距離が短いから 運賃がかからない、安いから
自由に移動できるから その他()

2. 一宮町の公共交通についてお伺いします。

1) 鉄道及び上総一ノ宮駅に対する要望等をお聞かせください。（該当するものすべて選んでください）

特に要望はない 運行本数を増やしてほしい
JRと路線バスの乗り継ぎを良くしてほしい
始発を早めてほしい・終電を遅くしてほしい
駐車場を増やしてほしい 駐輪場を増やしてほしい
その他()

2) もし、ご自宅近くから上総一ノ宮駅までの路線バス等が運行された場合、あなたは路線バス等を利用しますか？

既に利用している 利用する 条件次第では利用する 利用しない

3) あなたが路線バスを利用するにあたって改善すべき事項・要望等をお聞かせください。（該当するものすべて選んでください）

運行本数を増やしてほしい 始発を早めてほしい・終発を遅くしてほしい
路線・ルートを増やしてほしい 路線図や時刻表などの情報提供を充実してほしい
その他()

3. あなた自身についてお伺いします。

1) ご住所は？)市・町・村

2) 性別は？ 男性 女性

3) 年齢は？ 10代 20代 30代 40代 50代 60歳以上

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

3. 観光客ヒアリング調査

(1) 調査目的

本町に海水浴、サーフィン等のレジャーで訪れる観光客の利用交通手段（基本的には自動車主体）やまちなかでの回遊の実態、可能性を把握するためのヒアリング調査を実施し、自家用車から公共交通への転換可能性について分析する。

(2) 調査方法・内容

調査対象

- ・東浪見海水浴場一帯、一宮海水浴場一帯、釣ヶ崎一帯

調査方法

- ・上記3箇所に調査員を2名ずつ計6名を配置し、ヒアリングを実施する。
- ・調査は8月中の日曜日1日（8時～18時）とし、目標サンプル数は300票程度とする。

一般に、調査員による対話形式のヒアリング調査では、調査員1人1日あたりのサンプル回収数は50～80票程度とされている。ここで、海水浴シーズンの3つの海岸の観光客を1日あたり3,000人程度（平成20年の年間観光客数：海水浴2万人、サーフィン等31万人から推測）とすれば、10～16%の回収率が期待できる。国勢調査などでのサンプル抽出率は2%程度とされていることから考えても、分析に十分なサンプル数と考えられる。

調査項目

アンケートの項目は、下記の分析目的から設定した。

表 観光客ヒアリングの目的と調査項目

分析項目	検証する事項	調査項目
訪問者の特性	・訪問者の属性	・個人属性 ・同行人数、宿泊有無、目的
	・公共交通の利用状況	・来訪交通手段
回遊行動の可能性	・回遊行動の有無	・他の観光地の来訪予定
	・回遊可能性	・行って見たい他の観光地
公共交通の活用可能性	・観光端末交通の利用意向	・レンタサイクル、観光汽船等の利用意向

(3) アンケート票のイメージ

アンケートの設問及び回答のイメージを次頁に示す。

観光客アンケート票（案）

1. あなたの本日の行動についてお伺いします。

1) 今回のご旅行についてお伺いします。

(1) 出発地はどちらですか？ _____ 都・道・府・県 _____ 市・区・町・村

(2) ご旅行の人数は？ _____ 人

(3) 宿泊の有無は？ 日帰り 宿泊

2) 今回のご旅行の目的を選んでください。

海水浴 サーフィン 観光 ビジネス その他

3) 出発地から一宮町（ここ）までの利用交通手段をすべて選んでください。

自家用車 レンタカー バイク 貸切バス ホテル等の送迎バス

路線バス JR その他（ _____ ）

4) 上記の交通手段を利用された理由は何ですか？

他に手段がない 便利だから 時間通りに移動できるから

移動が楽だから 距離が短いから 運賃がかからない、安いから

自由に移動できるから その他（ _____ ）

5) 一宮町にはどのくらいの頻度で来られますか？

はじめて 年に1~2回 月に1~2回 週に1~2回 週に3日以上

6) 今回のご旅行で、一宮町内の他の地域に行く予定はありますか？

ある ない

└─▶ 立ち寄られる具体の施設を3ヵ所までご記入ください。

--	--	--

2. 公共交通の利用意向についてお伺いします。

1) 今回、鉄道や路線バスを利用して来訪されることは考えませんでしたか？

公共交通機関を利用した

公共交通機関を利用することを考えたが、条件が合わなかったため、他の手段を利用した

公共交通機関を利用することは全く考えなかった

2) もし、上総一ノ宮駅からここまでを結ぶバス路線が運行された場合、あなたはバスを利用しますか？

利用する

条件次第では利用する

利用しない

3) 今後、公共交通機関を利用して、一宮町内の観光をしやすくするために必要なことはな んだと思いますか？（特に重要だと思えるものを1つだけ選んでください）

一宮町内の観光地や主要な施設をめぐる巡回バスの運行

鉄道やバスの運行本数の充実

鉄道やバスの時刻表や路線図などの情報提供の充実

サーフィン等の大きな荷物も詰める交通手段の充実

一宮川の観光汽船の復活

レンタサイクルの整備 中心市街地の魅力向上

その他（ _____ ）

3. あなた自身についてお伺いします。

1) ご住所は？ _____ 市・町・村 _____

2) 性別は？ 男性 女性

3) 年齢は？ 10代 20代 30代 40代 50代 60歳以上

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

4. 宿泊業者等アンケート調査

(1) 調査目的

町内の主要な宿泊業者、観光センター等を対象としたアンケート調査を実施し、宿泊業者による観光客の送迎状況等のバス運用実態を把握する。

(2) 調査方法・内容

調査対象

- ・主要な宿泊施設、観光センター、その他観光施設

調査方法

- ・対象事業者に対してアンケートを郵送で配布、郵送で回収する方式とする。

調査項目

アンケートの項目は、下記の分析目的から設定した。

表 宿泊業者等アンケートの目的と調査項目

分析項目	検証する事項	調査項目
送迎状況	・送迎の状況	・送迎の実施有無 ・送迎バスの保有状況
送迎バスの活用可能性	・送迎バスの運行状況	・運行の形態 ・運行の頻度 ・利用状況

(3) アンケート票のイメージ

アンケートの設問及び回答のイメージを次頁に示す。

送迎バス等に関するアンケート票（案）

ご回答者の連絡先について

貴社名
記入者
連絡先

1. 貴社における宿泊客の送迎についてお伺いします。

1) 駐車場の規模はどのくらいですか？

一般用：_____台分 業務用：_____台分

2) バス等による送迎は実施されていますか？

行っている 行っていない

3) 貴社で保有されている送迎用バスはありますか？

保有している 【 バス：_____台 ワゴン等：_____台 】

他宿泊業者等との共同で保有

4) 宿泊客の送迎のための専属の従業員（運転手）は何名いらっしゃいますか？

従業員合計_____名のうち、専属の運転手は_____名

2. 送迎バスの運行・利用状況についてお伺いします。

1) 運行形態は？

JR 駅（上総一ノ宮駅・東浪見駅）とのシャトル運行を実施

特に決めておらず、宿泊客の要望に応じて送迎を実施

その他（ _____ ）

2) 運行頻度は？

運行時刻を決めて実施 【 平日：_____往復 休日：_____往復 】

特に決めておらず、宿泊客の要望に応じて送迎を実施

その他（ _____ ）

3) 平均利用者数は？

平日：_____人/日 休日：_____人/日

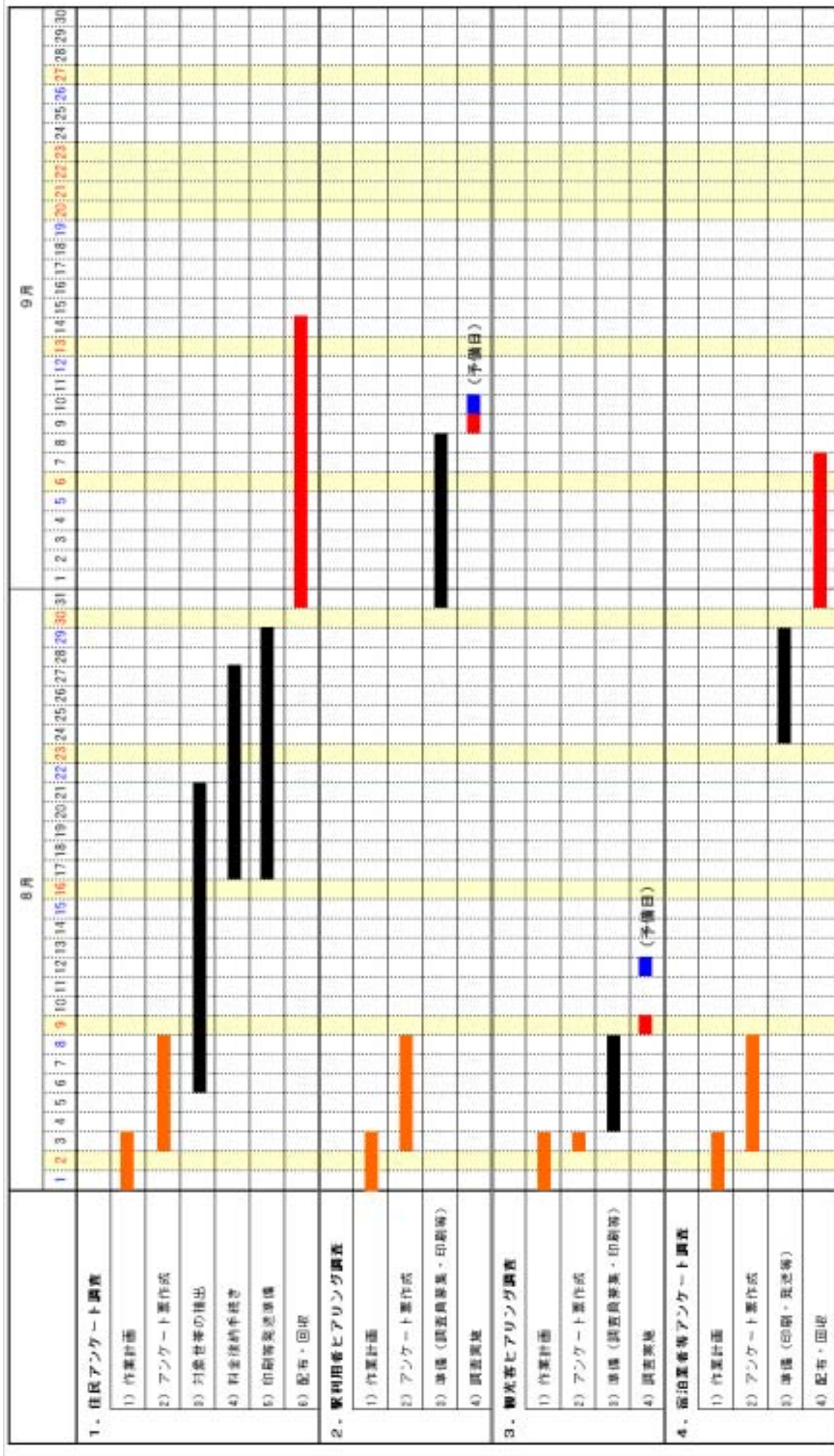
4) 繁忙期は？

1月・2月・3月・4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月・12月・通年

平日・土曜・日曜

5. 調査スケジュール

調査までのスケジュールを以下のとおり想定する。



参考資料．公共交通機関等の現状について

1．位置・地勢

一宮町は、千葉市から約 35 km、東京から約 70 km の位置にあり、総面積は 23.02 km² となっている。九十九里浜海岸及び九十九里浜平野の最南端に位置し、北部を一宮川が東西を横断して太平洋に流れる。東部は農地や市街地の広がる平野部、西部は房総丘陵の端部で山林と長く深い谷津が広がっており、豊かな自然と温暖な気候に恵まれている。

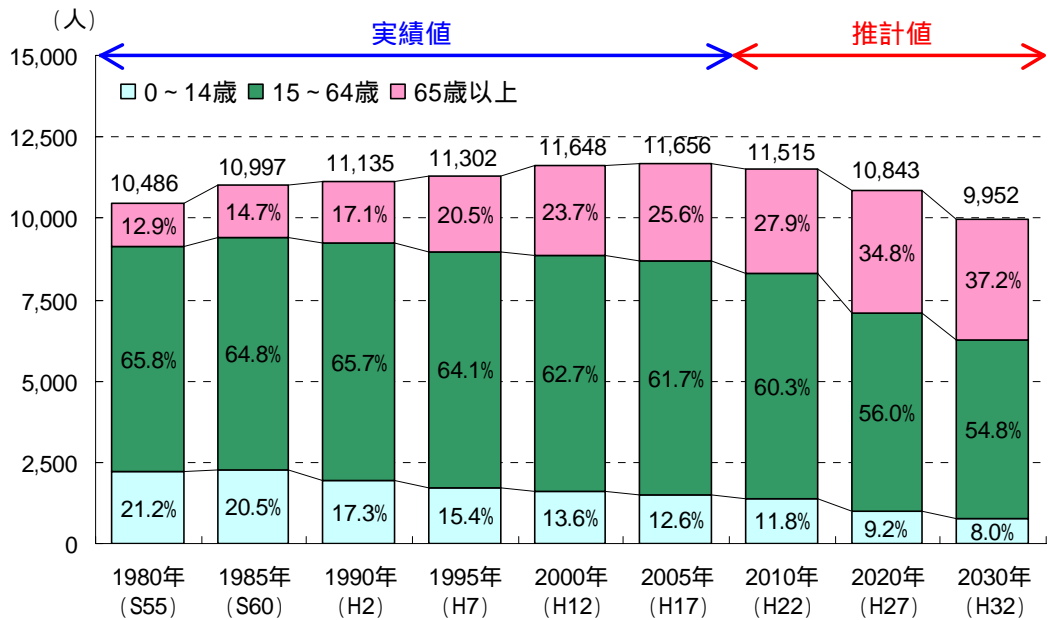


2. 一宮町の人口及び施設配置

(1) 人口の推移

一宮町の人口は 11,656 人（平成 17 年国勢調査）で、近年は微増傾向にある。年齢区分別にみると、年少人口（0～14 歳）及び生産年齢人口（15～64 歳）が減少傾向にある一方、老年人口（65 歳以上）が平成 17 年時点で 25.6% を占めており、少子高齢化が進んでいる。

今後は、人口が減少に転じることが予想され、平成 32 年には 1 万人を下回るものと推計されている。また、年齢区分別にみると、年少人口（0～14 歳）及び生産年齢人口（15～64 歳）の減少、老年人口（65 歳以上）の増加が進むなど、今後、少子高齢化の傾向が一層顕著になることが予想される。



資料) S55～H17 は国勢調査、H22～H32 は国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口（H20.12）」により作成

図 人口の推移と将来人口の見通し

(2) 人口及び老年人口の分布

一宮町の人口は、上総一ノ宮駅を中心として市街地が広がっており、特に駅周辺では人口密度が高くなっている。また、老年人口（65歳以上）の分布をみると、網田地区、一宮西部・宮原地区の高齢化率が高い。

表 地区別人口及び老年人口

地区名	人口 (人)	老年人口 (人)	高齢化率 (%)
宮原	776	229	29.5
新地・船頭給	1,892	469	24.8
一宮西部	3,481	1,035	29.7
一宮東部	3,468	810	23.4
東浪見	2,527	652	25.8
網田	290	108	37.3
総計	12,434	3,303	26.6

資料) 平成20年4月1日現在住民基本台帳

(高齢率)

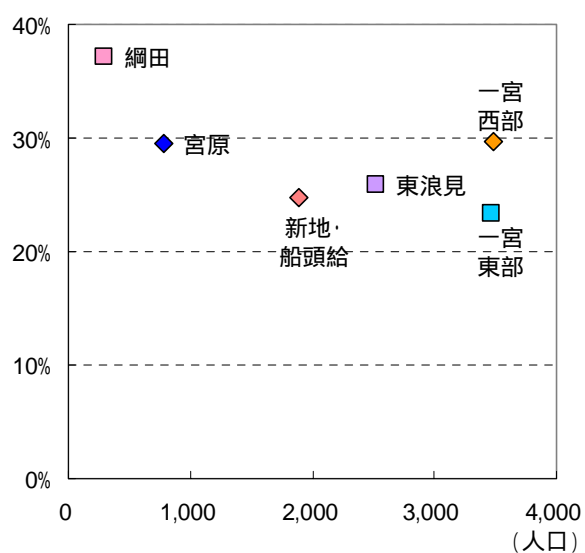


図 地区別の人口と高齢化率

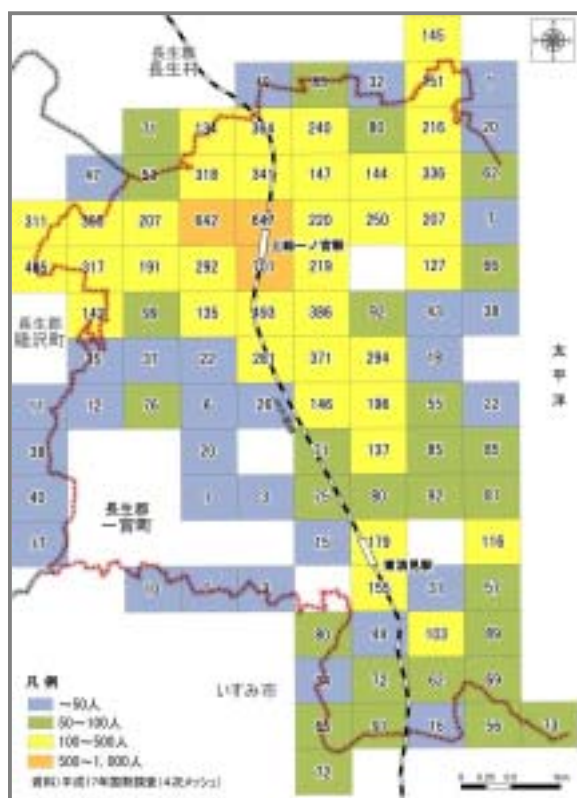


図 人口の分布

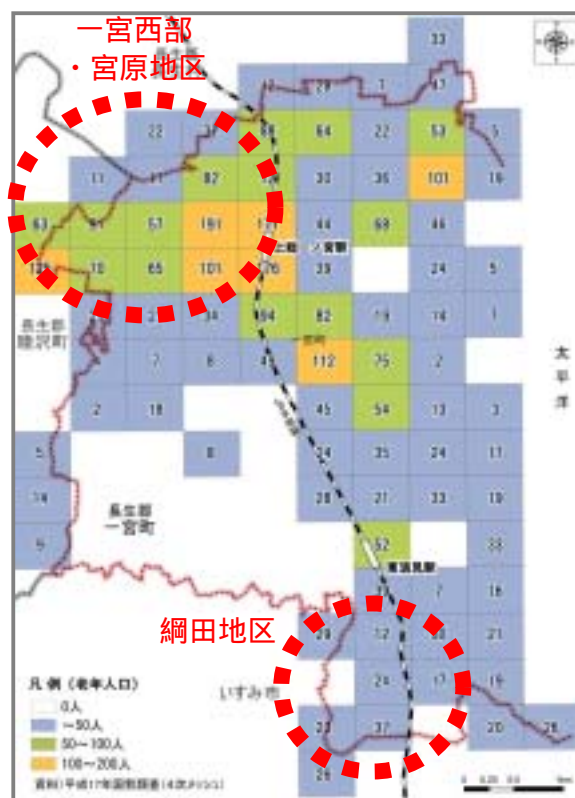


図 老年人口（65歳以上）の分布

資料) H17 国勢調査から作成

(3) 主要施設の配置

町の中央部をほぼ南北に JR 東日本外房線と国道 128 号線が縦断しており、中心市街地は外房線上総一ノ宮駅周辺に広がっている。公共施設は、上総一ノ宮駅及び東浪見駅の周辺に集積しており、海水浴場やサーフィンのメッカである九十九里浜海岸沿いに宿泊施設が点在している。

バス路線は、小湊鉄道(株)により 2 路線が運営され、JR 上総一ノ宮駅を中心として東西に、町内及び周辺市町村を連絡している。

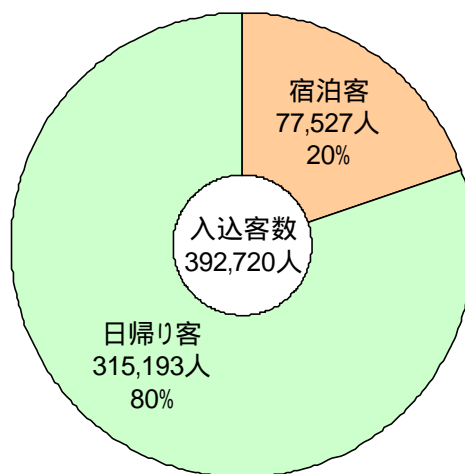
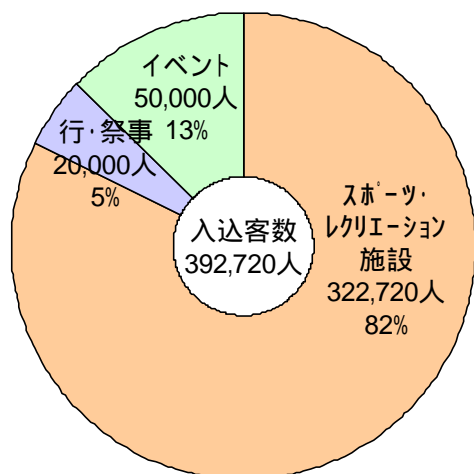


図 施設配置

(4) 観光客入込客数

平成20年の1年間に町内の観光・レクリエーション施設及び行・祭事、イベントに訪れた観光入込客総数は約39万人であり、その大半がサーフィンを目的として、一宮・東浪見・釣ヶ崎海岸を訪れている。

観光入込客のうち約8割は日帰りとなっており、また、主要な観光施設における年間入込客数は減少傾向にある。



資料) 平成20年観光入込調査(千葉県、H21.7)より作成

図 分類別入込状況(一宮町)

図 入込客の宿泊有無(一宮町)

表 町内の主要観光施設における年間入込客数

施設名	分類	入込客数(万人)			
		H17	H18	H19	H20
一宮・東浪見・釣ヶ崎海岸	サーフィン	42	31	32	31
一宮町納涼花火大会	花火大会	6	6	6	5
一宮海水浴場	海水浴場	7	2	2	2
玉前神社十二社祭	行・祭事、郷土芸能等	1	3	1	2
合計		56	42	41	40

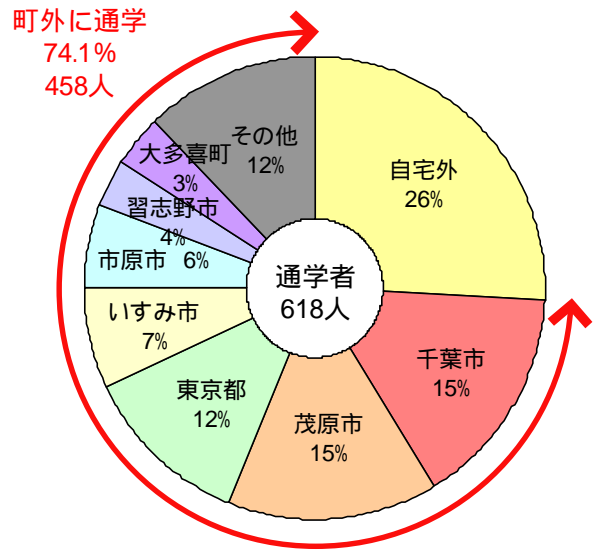
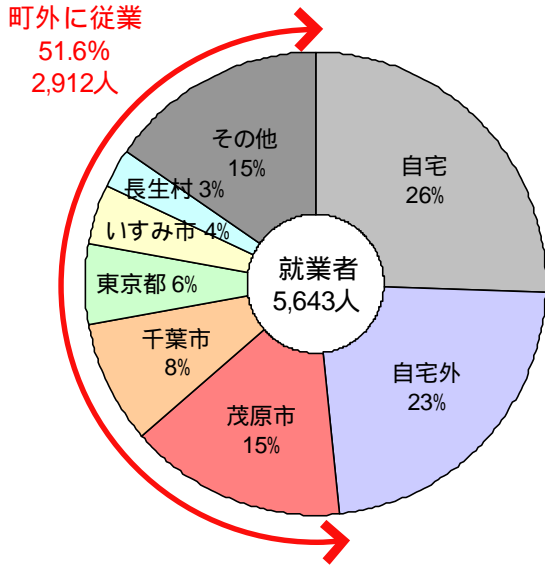
資料) 平成20年観光入込調査(千葉県、H21.7)より作成

3. 通勤・通学流動の実態

(1) 一宮町在住の通勤・通学流動と交通手段

一宮町在住の就業者のうち約半数、通学者では約7割が町外に通勤・通学しており、茂原市内、千葉市内、東京都内への通勤・通学が多い。

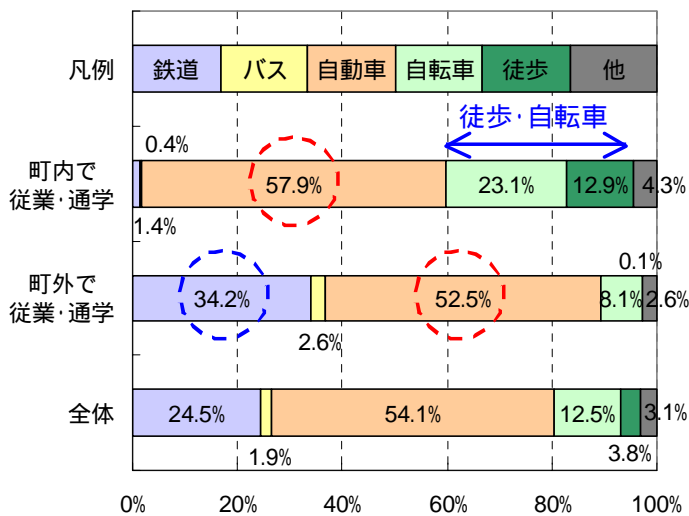
通勤・通学時の利用交通手段については、マイカー通勤が中心となっているが、町内で通勤・通学している場合は自転車・徒歩が多い。



資料) H17 国勢調査から作成

図 一宮町在住の15歳以上就業者の通勤先

図 一宮町在住の15歳以上通学者の通学先



資料) H12 国勢調査から作成

図 一宮町在住の通勤・通学者の利用交通手段

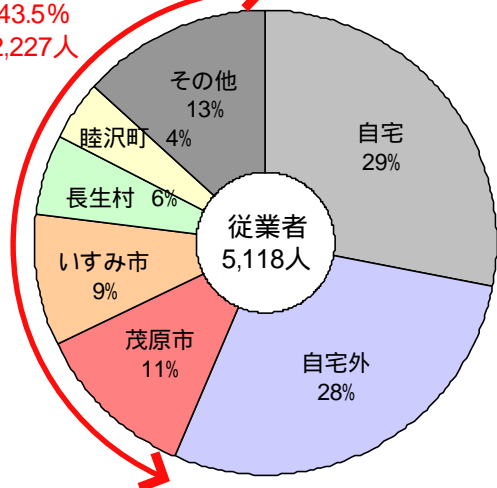


(2) 町内従業者・通学者の流動と交通手段

一宮町における従業者・通学者のうち、約4割が町外から従業・通学しており、茂原市・いすみ市・長生村からの流入が多い。

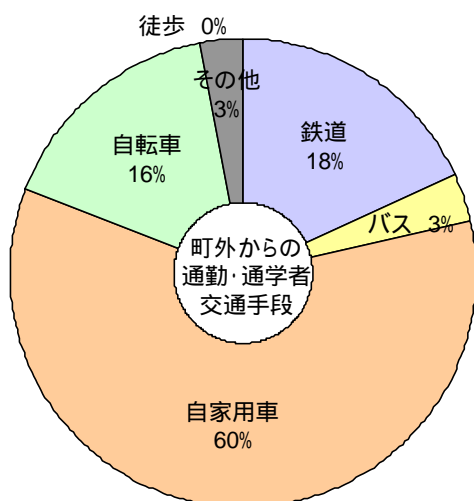
町外からの通勤・通学は、マイカー通勤者が6割を占め、次いで鉄道、自転車利用者がそれぞれ2割弱となっている。

町外から従業
43.5%
2,227人



資料) H17 国勢調査から作成

図 一宮町従業・通学者の常住地



資料) H12 国勢調査から作成

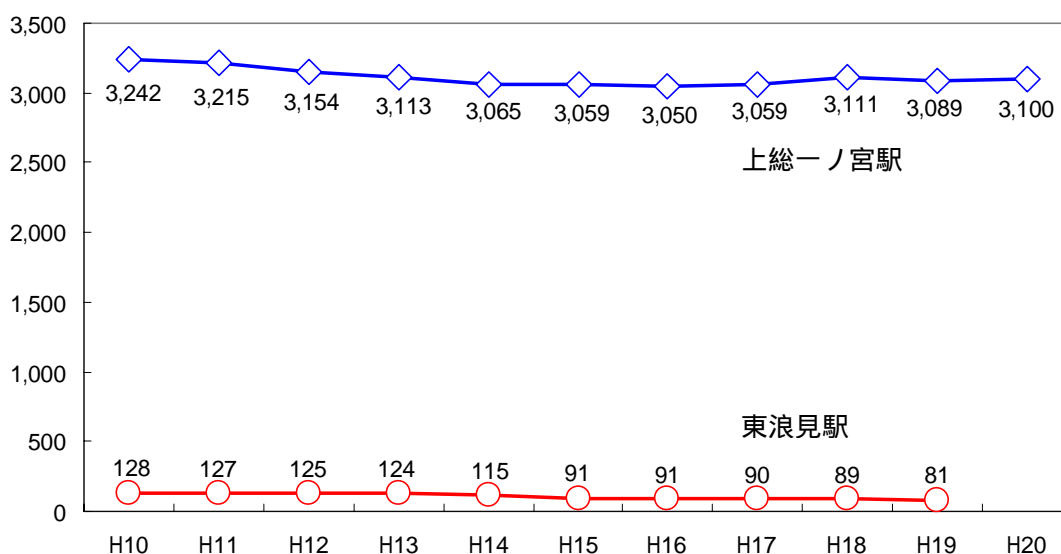
図 町外からの通勤・通学者の利用交通手段

4. 公共交通機関の現状

(1) 鉄道

JR 東日本外房線は、町の中央部をほぼ南北に縦断しており、町内には上総一ノ宮駅と東浪見駅が位置し、市街地形成の中心となっている。

JR 上総一ノ宮駅は、外房線の全線複線の終点駅であり、特急や快速が停車し、東京駅まで特急で60分という通勤圏であることから利用者が多いものの、近年は微減傾向にある。



資料)「県内鉄道各線・各駅乗車人員の推移(1日平均)」千葉県庁資料より作成

図 鉄道乗車人員(一日平均)の推移

表 各駅の運行本数(本/日)

			各駅停車	快速	特急	合計
上総一ノ宮駅	上り	平日	39	13	14	66
		土曜・休日	39	13	15	67
	下り	平日	30	0	11	41
		土曜・休日	30	0	12	42
東浪見駅	上り	平日	30	0	0	30
		土曜・休日	30	0	0	30
	下り	平日	30	0	0	30
		土曜・休日	30	0	0	30

資料)「駅の時刻表(H21.6.1時点)」JR東日本ホームページより作成

(2) 路線バス

路線バスは、小湊鉄道(株)により運行されており、本町と周辺の自治体を連絡するとともに、上総一ノ宮駅を中心に東西市街地を結ぶ生活交通手段として重要な役割を果たしている。

しかしながら、平成 14 年には、町内を運行する 2 路線の廃止について協議が行われ、一宮海岸～茂原駅線は廃止予定路線となっている。

また、上総一ノ宮駅～大多喜車庫線については、平成 20 年度から 2 年間にわたり、沿線 3 町で運営費赤字分を補助し運行することとなっており、一宮町は年間約 130 万円程度の負担を行っている。

表 路線バスの運行及び利用状況

路線	運行本数		運賃	一日平均利用者数 (H20)
	平日	土曜・休日		
一宮海岸～茂原駅線	3 本	-	160～500 円	67 人
上総一ノ宮駅～大多喜車庫線	5 本	-	160～500 円	20 人

表 小湊鉄道路線バス運行維持年度別補助額 (単位：円)

路線	平成 20 年	平成 21 年
一宮町	1,223,000	1,341,000
睦沢町	3,060,000	3,103,000
大多喜町	1,072,000	911,000
合計	5,355,000	5,355,000

(3) にこにこサービス

本町では、平成 14 年度から、65 歳以上の高齢者や身体の不自由な方を対象に、町内医療機関や鉄道駅までの送迎を行う「にこにこサービス」を実施している。

本サービスは、シルバー人材センターへの登録制で、希望日の 3 日前までに利用を申し込み、月 4 回まで無料で利用できる。

保有車両台数は 2 台で、登録者数は 93 名（平成 19 年度実績）となっており、平均利用者数は 51 人 / 月（2 回目以降の利用を除く）、一人当たり平均利用回数は 2.4 回 / 月（平成 20 年度実績）となっている。

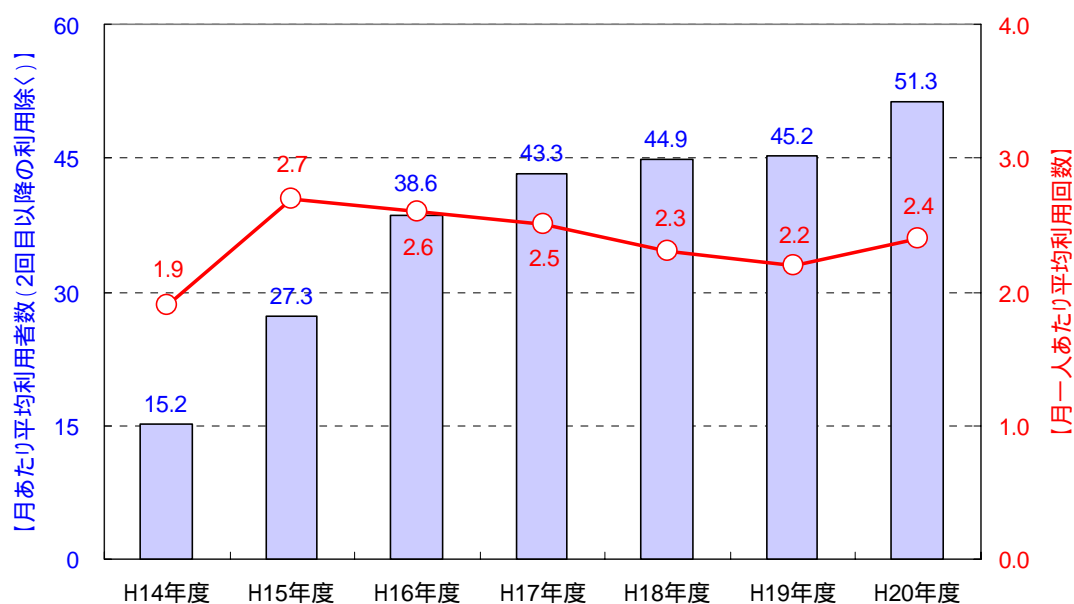


図 年度別月当たり平均利用者数及び平均利用回数

表 通院介助事業（にこにこサービス）年度別事業費（単位：円）

	H14 年度	H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度
委託料	504,000	765,055	955,250	1,041,070	981,625	955,635
保険料	41,790	40,430	39,390	40,110	1,892	17,820
合計	545,790	805,485	994,640	1,081,180	983,517	973,455

委託料）本サービスは、一宮町社会福祉協議会に委託

(4) その他交通機関について

日の丸自動車(株)がタクシーを運営しており、保有車両台数は 12 台となっている。また、福祉有償運送（個人）として、介護タクシーがある。